



「坂の上の雲」のまち松山
フィールドミュージアム 三津浜・梅津寺 サブセンターゾーン

三津浜の町並み

戦火を免れた三津浜には、かつて賑わった港町の面影を残した古い町並みが続く。江戸末期から明治期の建物が残るほか、路地に袋小路がたくさんあるのも特徴。ロケ地としてテレビドラマに登場した所もある。路地を歩きながら、商人や職人の営みを見ることができる。

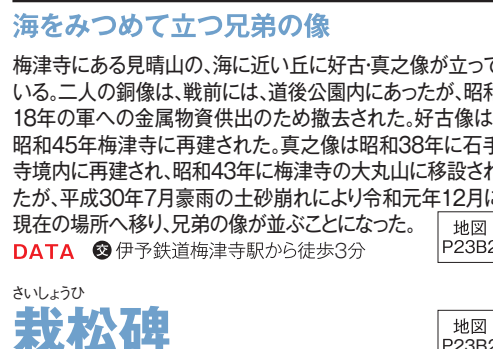
DATA 伊予鉄道三津駅から徒歩5分



あきやまよしふる・さねゆききょうだいどうぞう
秋山好古・真之兄弟銅像



あきやまよしふる・さねゆききょうだいどうぞう
秋山好古・真之兄弟銅像



あきやまよしふるのほか
大原其戎の墓(三津公園)

レトロでノスタルジックな港町

三津浜・梅津寺 サブセンターゾーン

主人公たちが青雲の志を抱いて旅立ち、降り立った古い港町。青年時代の子規もこの町で俳句を学びました。町並みや渡し船など往時の面影が今も息つき、瀬戸内海を見晴らす梅津寺背後の丘には、秋山好古・真之兄弟の銅像がたたずんでいます。

(注) 開館日時は、イベント開催や祝日等により変更される場合がありますので、各施設までお問い合わせください。なお、料金につきましては同様にお問い合わせください。



もりけじゅうたく
森家住宅

昭和4年築。萬間屋、精米・精麦業を営んでいた森家の商売建築。木造2階建の主屋に連続して門・塀を設け、通りに面する店舗部分の柱間下部は御影石で固め、2階壁面・軒裏全面を銅板で仕上げている。2階は、私設の「三津濱資料館」になっており、当に残る主に江戸時代から昭和初期までの三津浜に関する品々が多数展示されている。国登録有形文化財。

DATA ①松山市三津1-3-21 ②089-951-1061
③伊予鉄高浜線・港山駅下車、渡し舟(無料)を利用して8分。
④11時30分～15時 ⑤火曜、水曜 ⑥あり



ターナーの絵に描かれたような
ターナー島

漱石の「坊っちゃん」に登場する四十島(しじゅうし島)は、高浜港沖合に浮かぶ美しい島。小説の中で、野だいこが赤シャツにターナー島と呼ぼうと提案した。国の登録記念物(名勝地)である、海岸沿いには子規の「初汐や松に浪がす四十島」の句碑がある。

DATA ①松山市高浜町1
②089-948-6556(松山市観光国際交流課)
③句碑まで伊予鉄高浜駅から徒歩7分

きせんのりばと子規の句碑

ここからみんな、旅立っていった
三津は松山藩の御船手組(おふなてぐみ)(船奉行所)が置かれた由緒ある港町。遠浅のため、三津浜港では大型汽船は沖合に停泊し、はしけ船が乗客をわたしていたという。子規や秋山兄弟、漱石もここから出港した。きせんのりばの碑は三津3丁目から現在の地へ移転している。子規の句碑「十一人一人になりて秋の暮」は、明治28年子規が故郷での療養のあと再び東京へ旅立つ際、宴を催してくれた友人たちと別れた後の寂しさを詠んだもの。



あきやまよしふるのほか
大原其戎の墓(三津公園)

三津の渡し

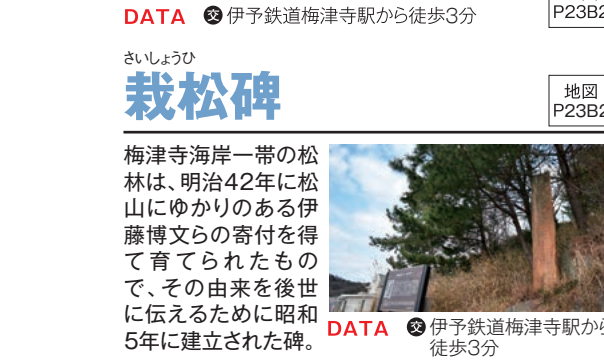
港町の情緒たっぷり
三津浜と港山の間を結ぶ市営の渡し舟。正式名称は松山市道高浜2号線、つまり市道なので年中無休・船賃は無料だ。室町時代に物資や食料の輸送に使われたのが始まりといわれ、500年を経た現在も、地区住民の生活に欠かせない足となっている。



あきやまよしふるのほか
大原其戎の墓(三津公園)

三津浜焼き

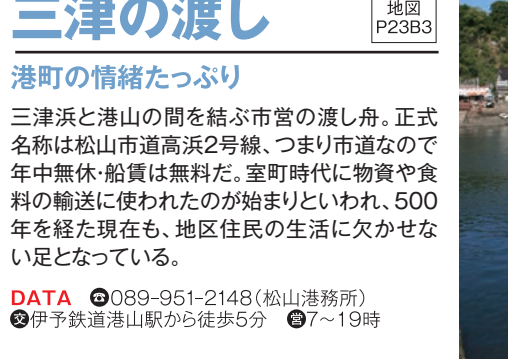
三津浜のソウルフード
大正時代の一銭洋食までさかのぼり、常に三津浜の人々の生活とともにあったお好み焼き



あきやまよしふるのほか
大原其戎の墓(三津公園)

秋山好古の書碑(荒神山)

大正11年の軍事演習の際、昭和天皇が野立場(休息所)とした場所に立てられている。



あきやまよしふるのほか
大原其戎の墓(三津公園)

日露戦役表忠碑(厳島神社)

三津厳島神社内にある。碑には「表忠碑」という書が彫られている。揮毫は陸軍大将秋山好古によるもの。



あきやまよしふるのほか
大原其戎の墓(三津公園)